授業プランシート

　【特設授業】　世界とつながる山田グスク　　　授業者：崎原（恩納村博物館）山田（沖縄県教育庁文化財課）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　本時のねらい | | | | |
| ・身近な文化財（山田グスク・歴代宝案等）を通じて地域の歴史を考える  ・山田地域の歴史を世界とのつながりから学ぶ | | | （評価場面方法）  文化財などの歴史資料から地域と世界のつながりを学び取れたか | |
| ２　めあて、まとめ、振り返り | | |  | |
| （まとめ）  ｓ  正対  ・山田グスクは地域の歴史を物語る大事な文化財  ・出土物や歴史資料から地域や世界とのつながりが分かる | | | （めあて）  ①　地元の文化財から地域の歴史を紐解くことができることを知る  ②　地域の歴史が世界とつながっていることを知る | |
| （振り返り） | | | | |
| ３　本時の展開（90分）　＊往復の移動（30分） | | |  | |
|  | 学習活動・内容・発問 | 予想される反応 | | 評価方法 |
| 移動  １５  分 | ・山田小学校からバスに乗車し恩納村博物館へ移動  ・博物館研修室へ移動・着席 |  | |  |
| 展開1０分 | 1　特設授業の授業者の紹介  ・地域の歴史を紹介する博物館（崎原）  ・沖縄の歴史を編纂する文化財課（山田）  発問：地域の歴史はどうやって調べる？  →文化財・歴史資料から紐解く  ２ 考える枠組みを提示  ・山田グスクの概要について紹介  →発問：どんなところ（イメージ）  →発掘等の成果を紹介／今とのギャップ  →歴史を調べる調査が行われている | 〇地域の歴史を調べる→本で調べる、大人に聞く  ○本や大人はどうやって歴史を調べる？  →文化財・歴史資料から紐解く  〇地元にある山田グスクを知らない／行ったことない／ただの山  →グスクには地域の歴史が詰まっている | | ・積極的に自分事として発問に答えているか |
| 展開①２５分 | 1 出土物（白磁・青磁）を観察する  ・２チームにわけ、それぞれ観察  ・出土物を触る（→陶磁器）／見る（→模様･形状）／比べる（→違い）から発見する  作業：気付いたことをワークシートにメモ  ２ 出土物（白磁・青磁）の違いから分かることを紹介  ・触る／見る／比べるを通じて分かることを紹介→気付いていたか挙手などで確認  ・中国で作られた陶磁器であること、形状などから用途・産地・時期などが調査によって分かることを提示  ・出土物（貝、獣骨など）から見るひとびとのくらし（食事など）を紹介  例、発問：昔の献立を考えてみよう？  ３ 出土物（刀）を考える  発問：これ（出土物）は何だろうか  ・刀であることを紹介→復元模造を紹介  ・沖縄では金属が採れないことを紹介  ・日本からの輸入品（武器）  →中国や日本など外の世界からやってきた多くのモノが見られる | 〇今と昔の器を比較する  陶磁器は、  ・（触れると）ツルツルしている  ・模様・形状に違いがある  ・青磁と白磁を比べて似ている部分（ツルツル）と色や形に違い  →違いを認識することが重要  ○自らが発見していた「違い」にさまざまな意味がある  ○考察→裏付け／他者の発見の共有  ○深い皿・碗などが多い  →煮炊き（料理）していた  →ごはんや汁物をよそう  ＊当時の食料は今とどう違うか  ○錆びていることから金属  ○グスクにあったので棒状のもの→武器  ○戦う場面が存在した | | ・出土物の「違い」を発見しているか  ・「違い」を解説を通じて当時を考える「情報」に捉え直せているか  ・他者が発見した「違い」を共有できているか  ・出土物から情報や考察を引き出せているか  ・出土物から情報や考察を引き出せているか  ・地域と世界のつながりを理解できているか |
| 展開②２０分 | １ 当時の人びとが書いた文書（古文書）  ・歴史を調べる手段に文書（古文書）があることを紹介→『歴代宝案』  ・『歴代宝案の栞』を用いて外国に出された文書であることを紹介  ２ 文書から当時のモノの移動を知る  ・護佐丸が生きていた時代の文書（栞8p）  ・琉球の王様からタイの王様へ  ・地図を示して文書（にある贈り物のリスト）を紹介  ・さまざまな地域（世界）と交流しながら商品を手に入れ交易を行う琉球（の王様）  発問：王様の贈り物のリストと山田グスクの出土物を比べてみよう  →数人を指名して確認  発問：なぜ山田グスクから同じようなものが出土するのだろうか  →いろいろな状況が考えられ、さまざまな意見可（挙手または複数名指名も可）  ➡現在（調査・研究を通じて）歴史を「発見」していく作業の途中（仮説を提示：貿易品は一方で沖縄（恩納）の人びとのくらしにおいても使われるようになっている＝普及、世界とつながる山田グスク） | ○山田グスクが利用されていた時代の文書が残っている  ○文書から情報を読み取る  ○海外と深くつながった貿易を沖縄（琉球）は行っていた  ○青磁や刀がリストにもある（⇔ないものもある）  ○青磁には種類があり、数の多い碗が山田グスクでも出土  ○山田グスクでは貿易品であった物を使用している  ○山田グスクも貿易の拠点（貿易の主体は琉球の王様でありその枠組みの中にある点は注意） | | ・歴史資料としての文書（『歴代宝案』）が残っていることを理解できているか  ・文書の紹介から当時の交流・貿易に海外の産品が多くもちいられていたことを理解できたか  ・出土物の情報とリストを対照させることができたか  ・出土物と歴代宝案にあるリストの関係を考え、主体的に両者の間にある未整理の関係を推測できたか |
| まとめ５分 | ・質疑応答又は事前の予想（発問：山田グスクのイメージ）を踏まえ、新しく分かったこと、学んだことをまとめよう  ・ワークシート記入  ＊新たな疑問も可（考察→疑問の発見を促す、疑問の回収は以後の授業などで活用） | 〇歴史を調べるのに文化財や資料（出土物など）が大事  ○山田グスクは大事な文化財  ○山田グスク＝山田の地域は世界とつながっていた | | ・自分の考えをまとめることができたか  ・当初の予想を授業を通じて塗り替えることができたか |
| 移動  １５  分 | ・博物館からバスに乗車し小学校へ移動 |  | |  |
| ４　使用教材 | | |  | |
| 1山田グスク出土の青磁・白磁、刀（恩納村教育委員会）　　2[歴代宝案の栞](https://ryuoki-archive.jp/ryu-detail/?id=15312)（沖縄県教育委員会発行） | | | | |